

地銀の経営データを解析

見やすく操作しやすい

実力とリスク一目で

RAVはNIKKEI Financialの会員なら誰でも自由に使うことができる。サイトのトップに誘導窓口を作るほか、関連記事も展開する。①実力診断②リスク傾向分析③実績ランキングの3つの観点から地銀の経営を見える化する。

①実力診断はオリジナルスコアで金融機関の実力を定量的にはかる。地銀のポテンシャルを40以上の指標の組み合わせから導く。「財務力」「収益力」「成長性」「経営の独自性」「ESG」「地域経済の状況」「職場環境・処遇」の7項目と総合力をS～Eのランクと順位で表示する。B以上なら平均を上回る。

②リスク傾向分析は、「財務の毀損」「収益力の低下」「ESGの脆弱化」の3つのリスク傾向を示す。グリーンのゾーンはリスクテークが大きすぎたり小さすぎたりせずバランスがとれた状態を示す。金融機関のリスクアペタイト（傾向）を見える化する。

実力診断とリスク傾向分析のモデルはリスクアペタイト・フレームワークやグローバル金融規制に詳しいプロモントリー・フィナンシャル・ジャパンの協力で開発した。同社が指標を算出する。

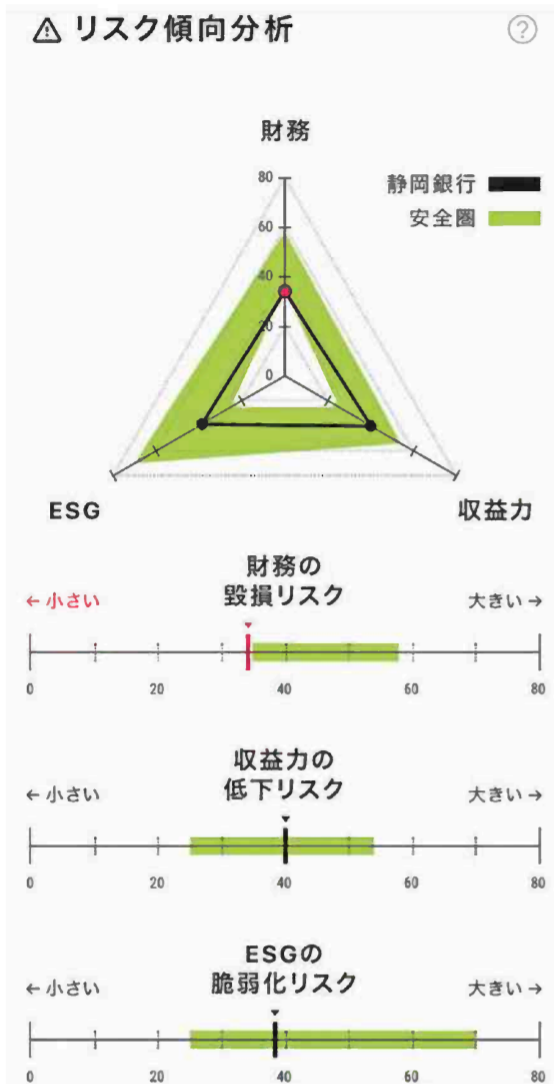
③実績ランキングは金融機関の開示データをもとに地銀の現在地を示す。日本経済新聞社のデータサービス日経NEEDSと連携し26項目から気になる指標を選んでランキングを並べ替えることができる。表示される財務指標はNEEDSからまとめて取得することも可能だ。

実力診断

実力診断は銀行が開示する40以上の指標を組み合わせで実力を分析する。「財務力」「収益力」「成長性」「経営の独自性」「ESG」までの5項目をまとめて「総合力」を算出する。

外部環境の優位性を示す「地域経済の状況」と従業員の処遇を示す「職場環境・処遇」も掲載する。S～Eで表示される実力が「B」より上なら平均以上の実力がある。

日本経済新聞社は金融機関の経営データを解析するツールを開発した。見やすさと操作性を追求した「NIKKEI Financial RAV (Risk Analysis Visualization)」を金融エグゼクティブ向けのデジタル媒体、NIKKEI Financialのサイトで公開する。さまざまな指標を使い、地銀の実力とリスクを分析した。(9面参照)



リスク傾向分析

リスク傾向分析は「財務の毀損」「収益力の低下」「ESGの脆弱化」の3つの項目のリスク傾向がどれくらいあるかを示す。グリーンのゾーンはリスクテークが過大でも過小でもないバランスがとれた状態を表す。

「財務の毀損」は財務の安定を損なうリスクがどれくらいあるかを示す。資本効率を判断する材料になる。

「収益力の低下」は収益力や効率性が落ちるリスクがどの程度あるかを示す。「ESGの脆弱化」は地域や社会、ESGへの貢献が低下するリスクを示す。経営層や従業員が社会規範を逸脱して行動するミスコンダクト、システム障害の発生などで社会的評価を損なうリスクが高まる。

リスクアペタイト どのようなリスクをどれだけ取り、どれくらいの収益を上げるかを測る指標。事業や財務の目標達成のためにリスク許容度を明確にする経営の枠組みはリスクアペタイト・フレームワークと呼ばれる。金融庁の「中小・地域金融機関向けの総合的な監督指針」では2019年にリスクアペタイト・フレームワークを初めて明記した。低金利下ではリスクから逃れるだけでなく、適切なリスクを取って利益率を上げることが求められる。



QRコードをクリックするとRAVに飛びます。利用にはNIKKEI Financialの会員登録が必要です。



項目や銀行名から検索

RAVのトップページをスクロールすると、使い方やデータの見方が表示される。「コンテンツを見る」ボタンをクリックすれば、説明を飛ばして使うこともできる。

調べ方は2通りある。項目から探す場合は「実力」「リスク」「実績」の3つのタブから見たい切り口を選ぶ。タブを開いて、興味のある項目名を選ぶとランキングが表示される。上位順や下位順で並べ替えることもできる。

調べたい銀行が決まっている場合は検索窓に銀行名を打ち込む。スペースを空けて複数の地銀を同時に指定することもできる。第一地銀、第二地銀で絞り込んで調べることも可能だ。

RAVのデータ構造					
リスク傾向分析	財務の毀損リスク	収益力の低下リスク	成長性	経営の独自性	ESGの脆弱化リスク
実力診断	財務力	収益力	成長性	経営の独自性	ESG
指標	自己資本比率	自己資本利益率(ROE)	貸出金額伸び率	貸出金利回り	預貸率
	修正自己資本比率	コア業務純益ROA	コア業務純益伸び率	1店舗あたり貸出額	地域預貸率
	不良債権比率	従業員1人あたりコア業務純益	株価変化率	信用コスト率	中小企業向け貸出比率
	保全率	修正OHR	PER(株価収益率)	地域貸出シェア	リスク管理指標
	格付指標	対預金経費率	PBR(株価純資産倍率)	有価証券利回り	ESG指標
	信用コスト率		役員取引ROA	地域預金シェア	中小企業向け貸出比率
			地域預金シェア	個人向け貸出比率	個人向け貸出比率

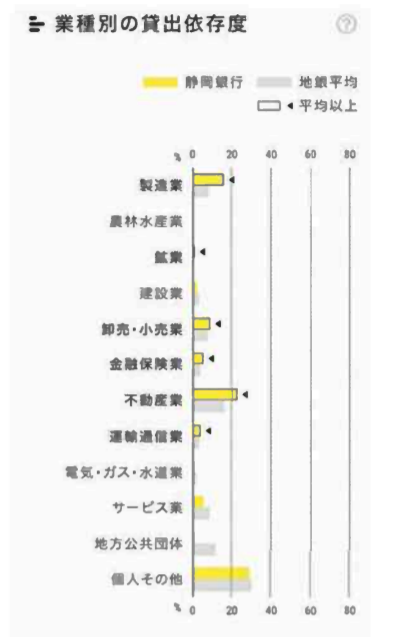
(注)プロモントリー・フィナンシャル・ジャパンの協力を得て作成

現状を可視化 手掛かりに

地方銀行は全国で比較すると、どんな位置づけにあるのか。手を組むならベストなパートナーはどこか。地銀関係者の多くは、地銀をどのように分析・比較しているのか悩んでいた。RAVの開発ではこれらの疑問に答えることを意識した。

菅義偉首相が「数が多すぎる」と発言し、日銀や金融庁は地銀再編を後押しする支援制度の導入に動いている。今後は地銀同士が統合を検討するなど、様々な展開が予想される。

RAVは各行がバラバラに開示するデータを集約して分析する。地銀の今を知り、未来を読むための最初の入り口としてRAVを活用してもらいたい。(平本信敬)



業種別の貸出依存度

地銀の貸出額を業種別に分類し、どの業種との関係が深いかを示す。地銀の平均値に比べて貸出依存度が高い業種を強調表示する。日経NEEDSのデータを利用。



実績ランキング

主要な財務指標の順位と変遷を表す。上位10位までは赤字、下位10位までは青字で示す。日経NEEDSのデータを利用。



信用スコア

信用力の高さを示す。56～100が良好、31～55が安定、0～30は注意を表す。日経金融工学研究所が算出したスコアを加工して掲載。